

〈2018 年度会員総会議事録〉

日時：2018 年 5 月 27 日（日）11:00～12:10

場所：早稲田大学大隈会館N棟 201、202 号会議室

（敬称略、（ ）内は年次）

出席者：内田直彦(10)、石館昌二(10)、櫻井昭一(11)、吉村公一(11)、内野秀夫(12)、舟木 健(13)、蓬田俊雄(13)、塚崎義樹(14) 福島正義(14)、波木井光彦(14)、鈴木豊(14)、小林武司(15)、深谷豪(15)、伊東勝英(16)、山本隆夫(17)、川崎清明(17)、藤森俊希(17)、田嶋達夫(18)、青木稔(18)、寺光克彦(18)、吉野弘純(19)、吉越昌治(20)、萩原英次(22)、土屋猛(22)、市川泰夫(23)、菊地正矩(23)、木ノ内嗣郎(26)、三廻部秀男(27)、石井照久(28)、山田達男(29)、神保淳一(29)、佐藤佳一(32)、越智直実(36)、神谷格郎(36)、井城裕子(37)、関上晴美(37)、石川知行(38)、佐伯秀彰(39)、前田誠一(41)、原口学(44)、沢木拓也(45)、青木 寛(45)、渡辺幸倫(46)、鈴木裕介(47)、辻雄貴(55)、小林麻衣子(67)、比呂増彦(68)

出席者 47 名（当日 2 名欠席）、委任状提出者 170 名、**表決参加者 217 名（表決権行使率：68.0%＝217 名/319 名）**

来賓 益田朋幸部長

現役部員 4 年上野俊和、3 年小宮有貴、2 年熊倉海良、新人野口巧人、新居将史

実質会員総数 319 名（総会員数 414 名から物故者 70 名、行方不明者 9 名、連絡禁止者 12 名、海外居住者 4 名を控除）

〈開会宣言および議長選出〉

定刻に石川専任理事（38）より開会宣言がなされ、佐藤会長（32）に議長をお願いしたい旨の提案がなされ、全員異議無く了承され佐藤会長（32）を議長に選出。

〈議長挨拶〉

議長は会員各位の当会運営へのご支援、ご協力に謝意を表した後、2017 年度は、我々執行部がスタートして 2 年目として、前執行部の路線を継承しつつ、前年度から引き続き現役部員への就活支援活動や部員会等への積極的な関与、新たな企画として卒部生への慰労・歓迎会、故関先生の 1 周忌として思い出を語る会、田島先生感謝の会等行った旨説明。

本日の会員総会では 2017 年度の事業報告・決算、2018 年度の役員・事業計画・予算等について、しっかりと審議をお願いしたいことならびに議案は全て、4 月 22 日開催の理事会にて承認された旨説明。

〈会員総会の成立、表決および議案の訂正〉

議長の指名により神保事務局長（29）から会則 23 条の会員総会成立要件について説明があり、実質会員数 319 名に対し現時点で過半数の 217 名の出席者及び表決参加者が確保でき、会則 23 条の要件を満たしていること、またその過半数を持って議案が承認されることを説明。続いて、数か所の議案書の訂正事項について説明、会報への報告時に修正する旨説明して、会員の了承を得た。

〈副議長、書記、議事録署名人の指名〉

会則 30 条により議長は市川副会長(23)を副議長・議事録署名人に、神保事務局長（29）を書記に指名した。

〈物故者黙禱〉

議長から審議に先立ち、この 1 年間に亡くなられた会員の報告がなされた。

2017 年 12 月 9 日 7 代飛鳥川明郎様、2018 年 3 月 29 日 10 代山田榮一様、以上 2 名のご冥福を祈り全員起立し、黙禱を捧げた。

〈議案審議〉

議案 1. 2017 年度事業報告案

石川専任理事（38）は議案書に基づき、主な催事、現役部との交流・支援推進、新実技講師による新たなカリキュラム遂行に向けた支援、早稲田アリーナ募金（目標 300 万円に対し 369 万円を達成）、会報の掲載内容充実、財政の安定化と見直し、社会貢献活動、70 周年記念事業に向けた準備の着手等重点実施事項について、項目ごとに補足を加えながら説明。

〈質疑〉

質疑はなく、議案 1. は全員異議無く承認された。

議案 2. 2016 年度決算案

鈴木会計担当常任理事（47）より、当初予算との差異の生じた項目を中心に説明を行った。

- (1) 会費の納入率は 90%と前期実績（87%）を上回る水準。支出面では、総会懇親会支払増等により予算比 7 万円増、慶弔費は結婚祝電対応等から予算内ながら支出増、催事活動費は予算比 3 万円減ながら活発な活動を維持。繰越金は 125 千円増加。
- (2) 山小屋資金会計では山小屋管理者謝礼の支出のみ。
- (3) 遭難対策資金会計では預金受取利息の収入のみ。
- (4) ワンゲル基金会計では卒部者の返済に伴う免除金 5 万円を計上。2018 年 3 月末の貸付金残高は 253 万円（28 件）で資産残高は 410 万円余となった。

〈監査報告〉

吉越監事（20）より、4月4日に会計監査を行い、適正に処理されていることを確認した旨の監査報告があった。

〈質疑〉

質疑はなく、議案2. は全員異議無く承認された。

議案3. 2018年度役員案

佐藤会長（32）より2018年度役員案について説明を行った。

(1) 執行部

萩原副会長(22)ならびに市川副会長(23)は退任、6年間の任期満了となる石川専任理事(38)が副会長に就任、石川専任理事の後任に辻常任理事(55)が就任。

役員改選期につき、佐藤会長(32)、鈴木監事(14)、吉越監事(20)、常任理事（神保(29)、沢木(45)、青木(45)、森(45)、渡辺(46)、鈴木(47)、大門(62)）は留任。

新任常任理事として、越智直実(36)が広報・催事担当、井城(37)が会報担当、前田(41)ならびに比呂(68)が就活支援・催事担当として、計4名が新たに就任。

(2) 理事

各代理事は15代深谷理事→小林理事、18代岡田理事→田嶋理事、36代神谷理事→越智直実理事、37代平沢理事→井城理事に各々交代、68代比呂理事は新任。

(3) 特別委員会・稲門体育会代表委員

各特別委員会の新任、代表委員の交代は下記のとおり。

会報編集委員会：委員長 井城常任理事(37)

就活支援委員会：委員長 前田常任理事(41)

稲門体育会代表委員：寺光(18)→松延(38)に交代

〈質疑〉

質疑はなく、議案3. は全員異議無く承認された。その後、萩原・市川両副会長、石川新副会長、辻新専任理事、新任常任理事、新任理事から退任・新任の挨拶。

議案4. 2018年度活動方針および事業計画案

辻専任理事(55)より2018年度活動方針および事業計画案について説明を行った。

- (1) 会報、HP、Facebook、メーリングリストなど多角的媒体による会員相互の親睦強化。
- (2) 現役との交流・支援強化（現役指導部サポート、就活支援等現役支援、卒部生向け慰労・歓迎会、70周年記念事業の一環として現役海外合宿計画時の支援検討）。
- (3) ワンゲル実技・新カリキュラムの円滑な遂行支援。

- (4) 広報活動のさらなる充実化。
- (5) 財政の安定化に向けた会費納付方針見直しと一般会計繰越金活用（議案 5 参照）。
- (6) 催事計画（70 周年記念行事、定例二大催事（山荘祭、スキー祭）、社会貢献等）。
- (7) 70 周年に向けた複数年次懇親会開催について。

〈質疑〉

質疑はなく、議案 4. は全員異議無く承認された。

議案 5. 2018 年度会費納付運用方針ならびに一般会計繰越金対応方針案

神保事務局長(29)より議案書に基づき説明。

(1) 年会費納付運用方針

- ・卒部後は、就職・学業継続に関わらず会費納付とする。
- ・長期会費未納付会員に対しては、文書送付のうえ会報送付中止も検討。

(2) 常任理事等による未納付会員に対する会費納付の働きかけを行う

(3) 一般会計繰越金は直近 10 年間 220～230 万円の水準で推移しており、毎期の安定した収支状況をふまえて、繰越金残高の下限を 100 万円程度とし、差額 120～130 万円については、記念行事等への有効活用等 OBOG 会活動の一層の活性化に向けた資金使途として検討。

質疑

①山本(17)：議案 5.3. で「70 周年記念の次の記念事業に備えた収支サイクル」とあるが、70 周年の次はいつ頃記念行事をやるのか？他部では 5 年毎というケースもあるようだが。→会員からのご意向もふまえて、75 周年記念事業をコンパクトに行なうことも検討。

②川崎(17)：議案 5.1. (4)は、「会報送付の中止も検討」となっているが、何の承認を求めている議案なのか？

→長期未納といっても現役時代以降ワングルとの関りがあった会員も多く、「長期会費未納即会報送付中止」と考えているわけではない。しかし一方では、きちんと会費を納付しワングル活動に関わっている会員からは、長期未納会員に対して何らかの対応を求める声があることも事実。また、HP、ML 等多角的媒体を通じた広報体制も確立しており、会報郵送の必要性についても様々な意見がある。会報送付中止を含めた対応を常任理事会で検討することにつきご承認を頂きたい。

③吉越(20)：議案 5.1. (1)において、「卒部後一律会費納付」とした根拠は何か？

→これまでは、卒部後学業継続者には一定期間会費納付を免除していたが、一方で、学業継続者ながら卒部後すぐ会費納付していた会員もあり、不公平感があった。また、卒部間もない会員の中には、会費納付に対する認識の低い方もいたことから、卒部生向け慰労・

歓迎会を開催する中で、会費納付の認識を徹底するとともに、口座振替手続きを行うことで、(原則として)卒部生一律会費納付とすることとしたもの。今年の卒部生10名(68代8名、69代2名)からは、口座振替依頼書を全員より受領済。

その他質疑はなく、議案5. は全員異議無く承認された。

議案6. 2018年度予算案

鈴木会計担当常任理事(47)より議案書に基づき、実績比変動する項目を中心に説明した。

- (1) 会費収入は、新規会員増はあるものの、会費減額対象者(2018年度は16代までが対象)の増加を考慮して減額予算とする。
- (2) 催事活動費は前年並みとするほか、70周年記念事業対応をふまえて、会議費、記念事業費を計上。卒部生慰労・歓迎会費用や会員名簿作成費を計上。

〈質疑〉

- ①山本(17)：支出の中に複数年次懇親会の補助は含まれているのか？含まれているならば、(他の記念事業の費用も考えると)記念事業費予算30万では少ないのではないかと→含まれている。会費未納付者への声掛け含めて複数年次懇親会を活性化することで会費収入増を期待しており、状況をみながら対応を検討していきたい。

その他質疑はなく、議案6. は全員異議無く承認された。

現役活動報告

沢木監督(45)より、以下のとおり報告あり。

- ・現役部の現在の人員(4年:4名、3年:7名(1)、2年:6名(1)、新人:5名(2)、計22名(4)の陣容(()内は女子部員)。
- ・コーチ陣は、中島(51)が小山(63)に交代、廣光(57)、内山(64)、小林(67)の計4名。春合宿は信越トレイルの関田山脈、新歓合宿は荒船山、錬成合宿は2隊(6/7~八ヶ岳、6/22~南アルプス)、夏合宿は3隊(沢、自転車、ポート+山)で西日本中心に展開予定
- ・70周年に向けて、70代(現役3年)と71代(現役2年)が海外合宿を検討しており、今後調整していくが、OBOG会からのご支援をお願いしたい旨説明。

実技講師報告

渡辺実技講師(46)より、以下のとおり報告あり。

- ・昨年度は、新しいカリキュラムとして、笹ヶ峰2泊、火打山ピストン、山小屋1泊の活動を実施。雨にたたられたが、現役部員のバックアップもあり、参加者全員火打山登頂。

- ・今年度も前年同様 12 名程度の参加予定で、9/3～9/7 にかけて笹ヶ峰周辺で実施予定。

益田朋幸部長挨拶

現役部益田新部長より以下のとおり挨拶あり。

- ・部長の役割として、学生と大学を（円滑に）繋ぐことと認識している。
- ・最近では、体育会部員に対する大学方針として、成績不振者のリストが部長に届くシステムとなっており指導を求められているほか、各部の体育授業に対する学生の参加状況も示されており、引き締めて臨んでいきたい。

田島前部長の顧問就任について

議長より、本年 3 月のご退任まで 24 年間に亘って現役部をご指導いただいた田島前部長を当会顧問にお迎えする件について諮ったところ、全員異議無く承認された。

〈閉会宣言〉

議長は全ての議案の審議が終了したこと、議事進行への協力に感謝の意を述べ、会員総会の終了を宣言した。

以上

書記 神保淳一 (29)

議長 佐藤佳一 (32)

議事録署名人 市川泰夫 (23)

〈追記〉

総会終了後、懇親会が行われ、内田直彦氏 (10) が乾杯、新入会員紹介、現役部挨拶、参加者からの現況挨拶をいただき、校歌斉唱、益田部長ほかのエールを行い、懇親会は盛会のうちに終了した。

以上